

■6月定例県議会補正予算

開会初日に議案第117号として自宅療養者の配食サービスや花きの消費回復など①87億円及び140号大規模接種会場や生活困窮者支援など②24億円、21日には第141号まん延防止等重点措置など③530億円、7月2日には第143号生活福祉資金貸付制度特例措置の延長④30億円が提出され、この内コロナ関連は667億円、今年度では4,185億円となり、これまでの累計は8,724億円に上ります。主なものは以下の通りです。

議案第117号 …7/6に議決(可決)

●自宅療養者の配食サービスの利用者増加に対応 5.6億円

弁当・飲料1日3食分を期間終了まで自宅療養の希望者に無料提供

●中小企業のテレワーク促進へモデルオフィス開設 0.3億円

●求職者の就職支援に職業訓練を拡充 2.2億円

デジタル分野などの訓練88コース、1745人を追加実施

●航空機サプライヤーを支援 0.3億円

●観光消費の喚起及び宿泊業者の感染防止を促進 69億円

県民の県内旅行・宿泊に対し代金の1/2(1人1回あたり最大5千円)をキャッシュバック(対象は8月末までに予約・販売の9～12月旅行分)。また、旅行期間中に利用可能なクーポン(1人1回あたり最大2千円)付与

●インターネット上の人権侵害にモニタリングを実施0.05億円

議案第140号 …6/21に早期議決(可決)

●大規模集団接種会場4か所開設 12億円

ワクチン接種加速のためバンテリンドームナゴヤなど新たに4か所開設

●高齢福祉施設等従事者等及び在宅者の接種加速 10億円

●生活困窮者自立支援金(新規) 1億円

議案第141号 …6/21に早期議決(可決)

●まん延防止等重点措置に伴う協力金等 527億円

名古屋市などの重点措置区域は午後8時までの時短要請に3～10万円、稲沢市などの重点区域外は午後9時までの時短要請に2.5～7.5万円

●東三河地域に大規模集団接種会場1か所(豊橋市)開設 3億円

議案第143号 …6/21に早期議決(可決)

●生活福祉資金貸付制度の特例措置の延長 5.6億円

■7月臨時議会補正予算

まん延防止等重点措置の解除を受け7月12日から8月11日まで本県独自(但し国庫支出金)の厳重警戒措置を実施することに伴う協力金など補正予算601億余円を可決しました。

●厳重警戒措置に伴う協力金等 601億円

全ての飲食店等を対象に午後9時までの時短要請に2.5～7.5万円

●愛知県ヤングケアラー実態調査 0.1億円

県内すべての公立学校や児童・生徒18,000人へアンケート調査等

■農林水産委員会

委員会へは部会長を務める農林水産部会で、花きの活用等やアワビ等の種苗放流の取組などについて事前審議してのぞみ全会一致で可決しました。

●花きの消費回復に向けた取組 1億円

●名古屋コーチン支援 0.6億円

●漁場の資源維持 0.5億円

鈴木純事務所 稲沢市稲島11-24

TEL 24-6600 FAX 23-0791

●新政あいち県議団DX研修会

研修会で効率(ICT)から変革(DX:デジタルトランスフォーメーション)へ、中小企業や自治体、地域社会のDXについて意見交換しました。



●地域政策推進フォーラム

連合愛知尾張南地協第22回地域政策推進フォーラムがWeb開催され、主催者の尾張南地協の後藤代表、水野・大島副代表、連合愛知の中島副事務局長、加藤社会政策局長と地方議員の皆さんと、コロナ禍の教育環境の整備充実、外国人支援、生活困窮者への食事支援(フードバンクとの連携状況)、コロナワクチン接種、地協要望など各市町村の実情と合わせ意見交換をしました。進行は地協の宮地事務局長です。



●日本自治創造学会研究大会

2021年度の研究大会「変革は地方から～コロナを超える地方の知恵～」がオンラインで行われ、西村経済再生担当大臣からは「コロナと闘った1年」と題し緊急事態宣言の経過、マスク着用、治療薬、支援策などを、藤井内閣府副大臣からは「デジタルで新たな日本を創る」と題しデジタル社会形成基本法、デジタル庁設置法、公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律などを講演いただき、パネルディスカッション「コロナと闘う行政～国と地方の役割分担～」では鈴木三重県知事や成澤東京都文京区長、田中明治大学教授などの取組を伺いました。



新政あいち県議団の委員会メンバー左から1人置いて朝倉、小山、SUZUKI、渡辺委員長

愛知県議会報告 J-PRESS

新政あいち県議団

愛知県議会報告は新政あいち県議団及び議員に交付されている政務活動費を充当して作成・配布しています。県政へのご意見をお寄せください。

責任者:鈴木純 名古屋市中区三の丸1-2
代表電話 052-961-2111 FAX052-961-3766

雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモマケズ 夏ノ暑サニモマケズ

丈夫ナカラダヲモチ...

7月6日に閉会した6月定例会愛知県議会は、新年度に入り4月臨時議会2回、5月臨時会2回、6月臨時議会に続き、6回目の招集となるものでした。予算関係では会期中4回にわたり671億円の補正が計上され、その内667億円がまん延防止等重点措置の実施や大規模接種会場、観光消費の喚起及び宿泊業者の感染防止などのコロナ関連です。その他の議案では、青春の丘やジブリの大倉庫エリアの演習工事などジブリパーク関連の工事請負契約の締結、県政発展にご尽力いただいた青山桂子副知事から佐々木葉々子副知事(共に厚労省出身)への選任同意議案など上程された全ての議案を可決・同意しました。

また、議会では新たな特別委員会の設置やワクチンの円滑な供給について、性犯罪に関する刑事法の見直しについてなどの意見書を国へ送致しました。



六月議会では新たに設置された新型コロナウイルス感染症対策特別委員会委員にも選出いただきました。新政あいち県議団では農林水産部会長を務めるほか、新たに立ち上げた中小企業振興政策推進議員連盟の初代会長に就任しました。未来へつづくまちづくりへ一生懸命働きます。

※許可を得た写真は娘の職域接種の家族枠での1回目接種です(サンシャインサカエのひだまりコロナワクチン職域接種会場にて)

「集団免疫」のために可能な方は接種をお願いします。

7月12日にはまん延防止から厳重警戒措置へ移行することに伴い7月臨時議会が開かれ補正予算601億円を可決しました。

ワクチン不足が懸念されるなか接種が進んでいますが今しばらくのご協力をお願いします。東京2020オリンピック・パラリンピックが無事に開催されることを祈ります♡



国府宮はだか祭大鏡餅奉納祖父江町奉賛会(吉川貴祥会長)御田植祭です。



新型コロナウイルス感染症対策 特別委員会設置

令和三年五月臨時愛知県議会において農林水産委員会委員(理事)に選任されました。本県は農業産出額が3千億円を超え全国の第3グループに位置する農業県でもあります。委員会では食育推進や農業・園芸・畜産・水産などの各課を所掌する農業水産局、並びに土地改良などの農地部や林業関係等を所掌する農林基盤局を所管いたします。また、アジア競技大会調査特別委員会理事に所属し2026年の開催に向けて議論を深めるほか、政治倫理審査会に所属いたします。

愛知県議会議員 (稲沢市選出)

すずき純



新型コロナウイルス感染症感染者数と対策の推移

●1月臨時議会①1/8
コロナ対策予算 328 億円
累計 3,445 億円

●1月臨時議会②1/18
コロナ対策予算 251 億円
累計 3,696 億円

●2月定例議会 2/19～3/25
コロナ対策予算
2月補正 843 億円
(2020 年度合計 4,519 億円)
当初予算 1,308 億円
累計 5,819 億円

●4月臨時議会①4/2
コロナ対策予算 59 億円
(2021 年度合計 1,369 億円)
累計 5,909 億円

●4月臨時議会②4/21
コロナ対策予算 548 億円
(2021 年度合計 1,918 億円)
累計 6,457 億円

●5月臨時議会①5/11
コロナ対策予算 651 億円
(2021 年度合計 2,569 億円)
累計 7,108 億円

●5月臨時議会②5/27
コロナ対策予算 200 億円
(2021 年度合計 2,769 億円)
累計 7,308 億円

●6月臨時議会 6/1
コロナ対策予算 749 億円
(2021 年度合計 3,518 億円)
累計 8,057 億円

●6月定例議会 6/17～7/6
コロナ対策予算 1,416 億円
(2021 年度合計 4,185 億円)
累計 8,724 億円

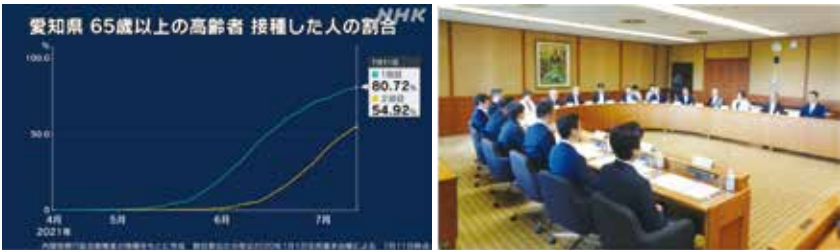
●7月臨時議会 7/12
コロナ対策予算 601 億円
(2021 年度合計 4,786 億円)
累計 9,326 億円



緊急事態宣言等の稲沢市の飲食店の時短要請(協力金)例

コロナワクチン接種状況等

愛知県のワクチン接種対象者は5月末に年齢が16歳以上から12歳以上に引き下げられた約30万人を加えて対象者約670万人となっています。代表質問(6/21)の知事答弁では高齢者の接種は100万人を超え人口上位10都府県ではトップの接種率(55.50%)とのことでした。県では高齢者及び次の段階(450万人)の速やかな接種のため各自治体の接種に加え大規模集団接種会場を設けるほか企業等にも職域接種等をお願いしています。大規模集団接種会場は、全国に先駆けて5月末に設置した名古屋空港ターミナルビル(2千人)と藤田医科大学(豊明、1千人)に加え、7月には愛知医科大学(岡崎、千人)、藤田医科大学岡崎医療センター(千人)、安城厚生病院(840人)、パンテリンドーム名古屋(500人)、豊橋中央会場(千人)を設置、7会場で1日最大7千5百人、9月末までに接種対象者の4.6%に当たる31万人の接種が行われる予定です。また、特別支援学校や児童福祉施設等の教職員約2千人を対象として職域接種を国に要請しました。(下記グラフはNHKの新型コロナウイルス特設サイトからです。右写真は新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の模様です。)



●STEP21街宣資料 毎月の国府宮駅とJR 稲沢駅での街宣資料ですが実施できたのは3月のみで資料は鈴木純公式ホームページにアップしました。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

新設された特別委員会が早速会期中の7月5日に第1回目が開かれワクチンの接種状況など理事者説明の後、鈴木からは職域接種の取組について質しました。県の電話相談窓口などに寄せられた件数は967件、国への申請件数は414件、152万人対象とのことですが、国が承認しているのは192件、82万人対象でした。ワクチン不足や自治体の負担軽減、確実な接種のためにも接種券の速やかな配布・登録など国、県、市町村、企業等との情報の把握・共有が重要です。

稲沢市の接種状況

65歳以上の接種対象者約3万9千人、65歳未満約8万4千人に対し、7月12日集計分の接種率は65歳以上81.1%、未満では2.4%(共に1回目)です。自治体へ接種券の早期発行を県から要請するよう鈴木からも意見具申し前倒しされました。

稲沢市の64～12歳のコロナワクチン接種スケジュール

対象者	接種券発送日	予約開始日
60～64歳 昭和32年4月2日～昭和37年4月1日 基礎疾患の方・高齢者施設等従事者昭和37年4月2日以降	7月12日(月)	7月20日(日)
50～59歳 昭和37年4月2日～昭和47年4月1日	7月26日(月)	8月 3日(日)
40～49歳 昭和47年4月2日～昭和57年4月1日		8月17日(火)
30～39歳 昭和57年4月2日～平成 4年4月1日		9月14日(火)
12～29歳 平成 4年4月2日～平成21年7月1日		10月5日(火)